

令和4年度 山椒収穫に向けて

この冬は雪が降る日が多くありましたが、3月からは暖かい日が続いています。山椒の開花もまもなく始まり、収穫時期が徐々に近づいてきました。圃場の山椒の状況を確認し収穫に向けた準備を始めましょう。

開花時期の確認

満開から約1ヶ月後が収穫の目安とされています。開花状況を確認し、収穫日を予測します。山椒の満開は8割程度開花した状態を指します。

昨年の満開状況 神戸…4月27日頃



つぼみ



開花始め

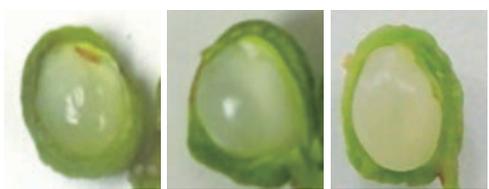


満開
8割以上のめしべが出てきた状態

収穫適期の確認

開花後の天候が良く、適度な降水がある場合、実の成熟は早まります。

予測した収穫日の1週間前くらいから成熟の早い果実を複数割って種子色を確認し、種子色が透明から乳白色に変わる時点で収穫を開始します。



(収穫適期)



(悪い) →

発生しやすい病害虫

●アゲハチョウの幼虫

4月～10月頃まで発生し葉を食害する。

葉が無くなっている枝があれば付近を搜索して捕殺する。

●アブラムシ類

新梢部に寄生し、養液を吸収する。

モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 収穫7日前まで1回

キュウリ



夏の食卓によく見かける青々としたキュウリ。
夏に不足しがちな水分の補給や利尿作用に効果があります。

収穫

育苗と直まきを組み合わせると長期間収穫できる。接ぎ木苗は土壌病害の心配が少ない。夏場の土壌乾燥を防ぐ。肥切れさせないこと。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え					△	■	■	■	■	■	■	■	北進・夏すずみ・鈴成四葉・新北進

△：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

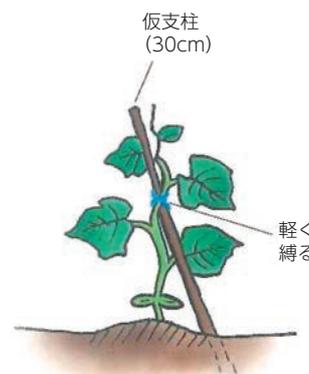
土づくり a当たり	
堆 肥	400kg
セルカ (有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
野菜専用肥料	10kg
醗酵鶏糞	30kg
畝立時施用	



植え穴に苗をおく



周りの土を寄せて
根鉢の周囲を埋める



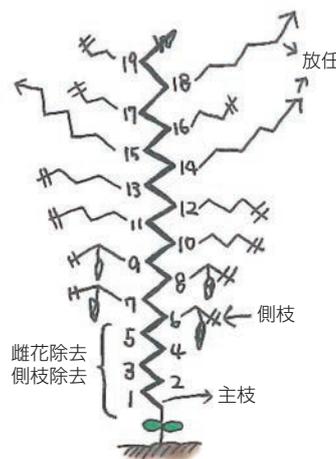
仮支柱
(30cm)

軽く
縛る

- ・2条植え：畝幅150cm
- ・株間：60cm
- ・本葉3～4枚の苗を植える。
- ・風のない日の午前中に定植位置をやや高くして植え付ける。

整 枝

- ・主枝5節までの側枝、雌花は除去する。
- ・主枝6節以降から出る側枝は1～2節で摘芯するが、2～3本の側枝は伸ばしておく。
- ・主枝は支柱の高さで摘芯する。



主枝の6節目以降から出る側枝は1～2節で摘芯するが、主枝摘芯時、2～3本の側枝は放任しておく。

追肥・敷きわら

- ・収穫開始前から10日ごとに追肥する。(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)
- ・敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。

防 除

病害虫	耕種的防除	薬 剤 防 除
つ る 枯 病	連作を避ける	トップジンM水和剤 1,500～2,000倍 収穫前日まで 5回以内
べ と 病	排水を良くする	ダコニール1000 1,000倍 収穫前日まで 8回以内
ウリハムシ (ウリバエ)	光反射マルチを行う	マラソン乳剤 1,000倍 収穫前日まで 3回以内
ハ ダ ニ 類	周辺雑草を防除する	
アブラムシ類	光反射マルチを行う	アドマイヤー1粒剤 1～2g/株(植穴又は株元土壌混和) 定植時1回

収 穫

- ・大きくしないで早目に収穫することが、樹勢を長持ちさせるポイント。